

## IV 分析結果

### 1. 男女平等に関する意識について

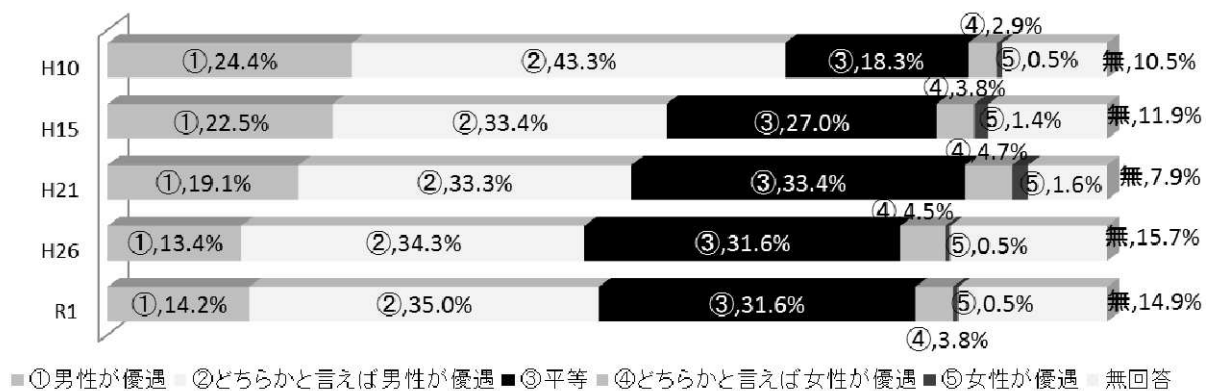
問1 次の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか？

- (1) 家庭生活で
- (2) 職場や職業で
- (3) 地域社会で
- (4) 学校教育で
- (5) 法律や制度の上で
- (6) 政治の場で
- (7) 社会通念や慣習、しきたりで

- ① 男性の方が非常に優遇されている
- ② どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ③ 平等である
- ④ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ⑤ 女性の方が非常に優遇されている

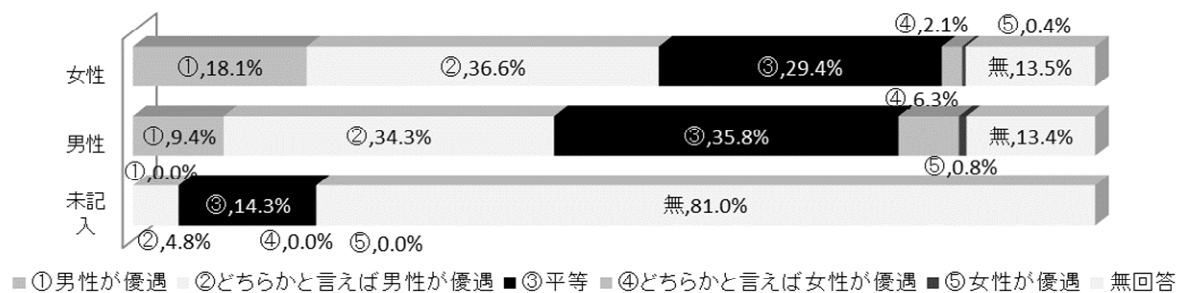
※以下、全体 (R1) n=270 (女性 n=155、男性 n=109、性別未記入 n=6)

#### 【意識全体の経年変化（7項目の平均値の推移）】



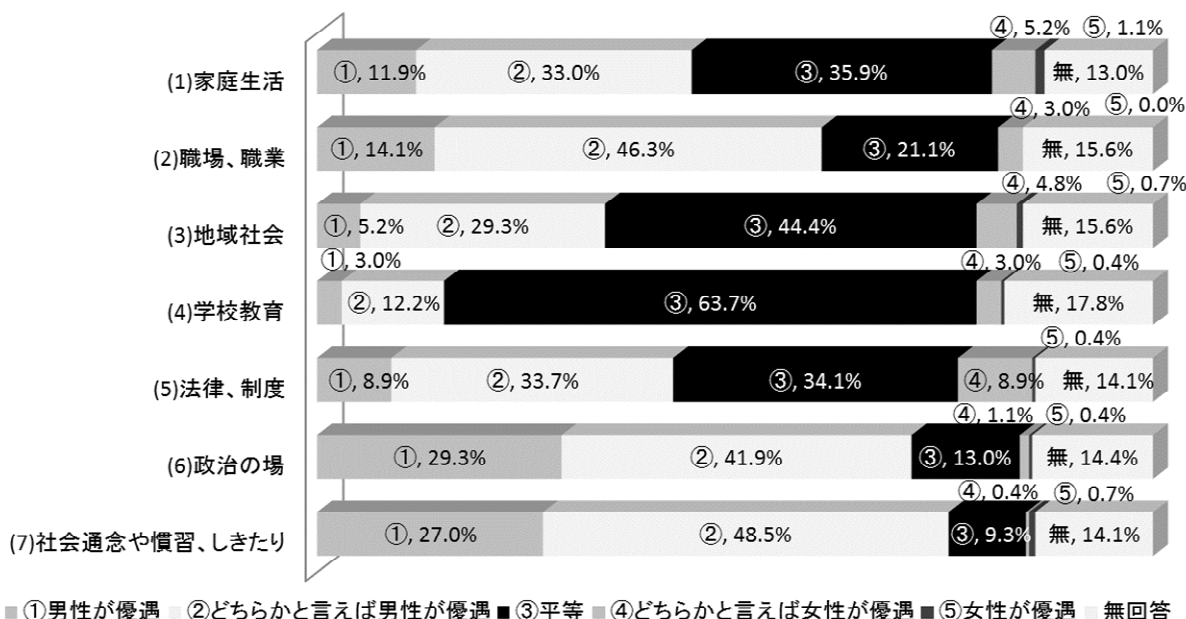
- ・ 「男女の地位は平等」と回答した人の割合は、前回の調査で微減したが、今回は前回と同じ 31.6%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、調査開始時の 67.7%から継続して減少していたが、今回は前回から微増し 49.2%

#### 【意識全体(性別比)(R1)】



- ・ 「男女の地位は平等」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高く、男性の 35.8%が回答
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性の方が高く、54.7%と半数以上が回答

## 【分野別の意識】



- ・ 最も「男女平等」と感じられているのは「学校教育」で、63.7%の人が平等と回答
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人が5割以上の「男性優遇感」が高い項目は、前回調査と同じく7項目中3項目(「職場・職業」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」)
- ・ 特に「社会通念や慣習、しきたり」では、75.5%の人が「男性が優遇」と感じている

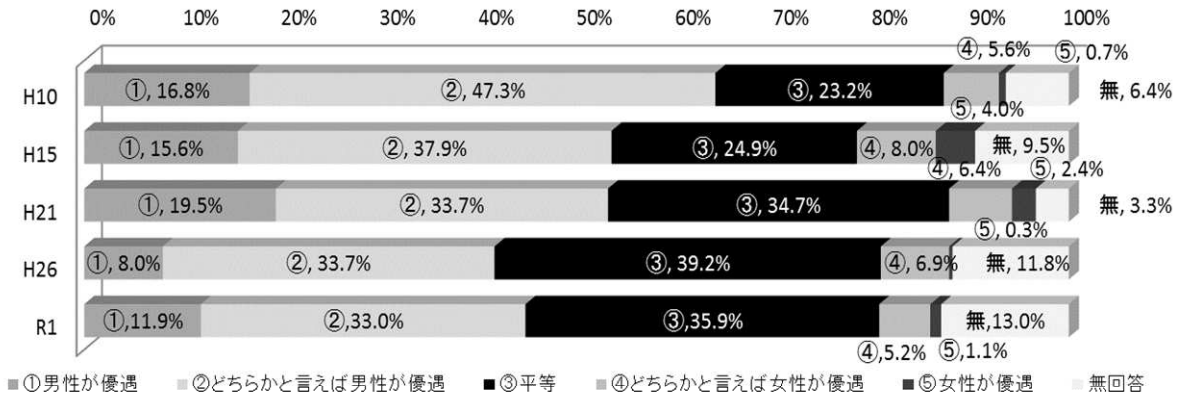
## 【「平等である」と回答した割合の経年変化】

|              | H10 |       | H15 |       | H21 |       | H26 |       | R1 |       |
|--------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|----|-------|
|              | 順位  | 割合    | 順位  | 割合    | 順位  | 割合    | 順位  | 割合    | 順位 | 割合    |
| 学校教育         | (1) | -     | 1   | 62.1% | 1   | 73.9% | 1   | 67.4% | 1  | 63.7% |
| 地域社会         | 4   | 19.9% | 4   | 24.6% | 3   | 35.6% | 2   | 46.9% | 2  | 44.4% |
| 家庭生活         | 3   | 23.2% | 3   | 24.9% | 4   | 34.7% | 3   | 39.2% | 3  | 35.9% |
| 法律、制度        | 2   | 27.0% | 2   | 29.1% | 2   | 37.4% | 4   | 31.3% | 4  | 34.1% |
| 職場、職業        | 6   | 12.6% | 5   | 19.1% | 6   | 22.8% | 5   | 18.4% | 5  | 21.1% |
| 政治の場         | 5   | 18.4% | 6   | 17.6% | 5   | 23.4% | 6   | 10.4% | 6  | 13.0% |
| 社会通念や慣習、しきたり | 7   | 8.8%  | 7   | 11.3% | 7   | 7.9%  | 7   | 7.6%  | 7  | 9.3%  |

- ・ 継続的に1位で平等感が高いのは「学校教育」
- ・ 2、3位の「地域社会」「家庭生活」は、調査開始時から継続的に増加していたが、今回平等感が微減
- ・ 一方、4～7位の「法律、制度」「職場、職業」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」は、前回平等感が減少したが、今回は増加

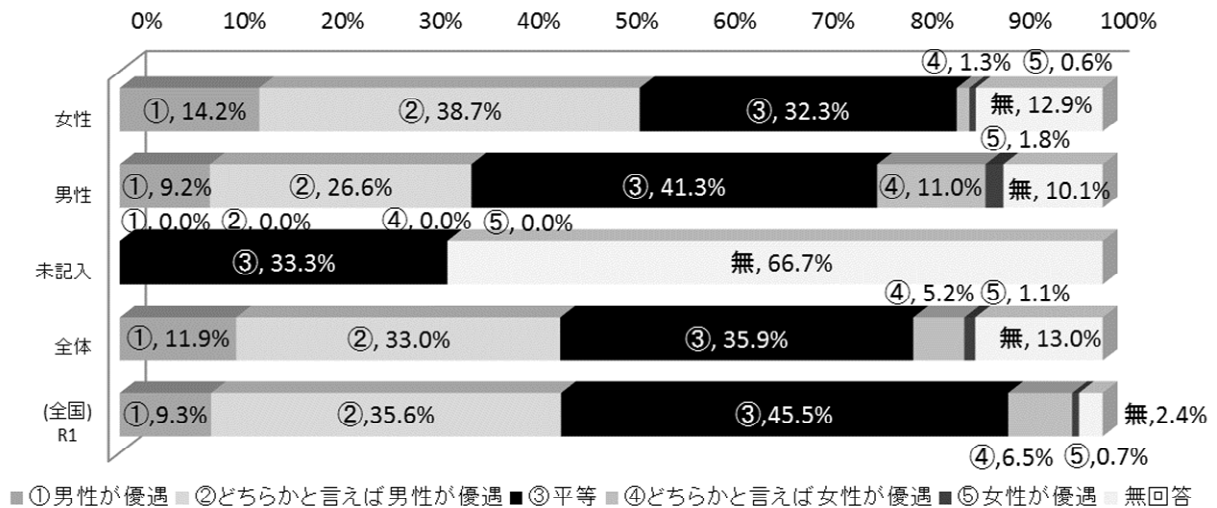
(1) 家庭生活で

【全体(経年変化)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に増加していたが、今回は微減し 35.9%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少していたが、今回は微増し 44.9%

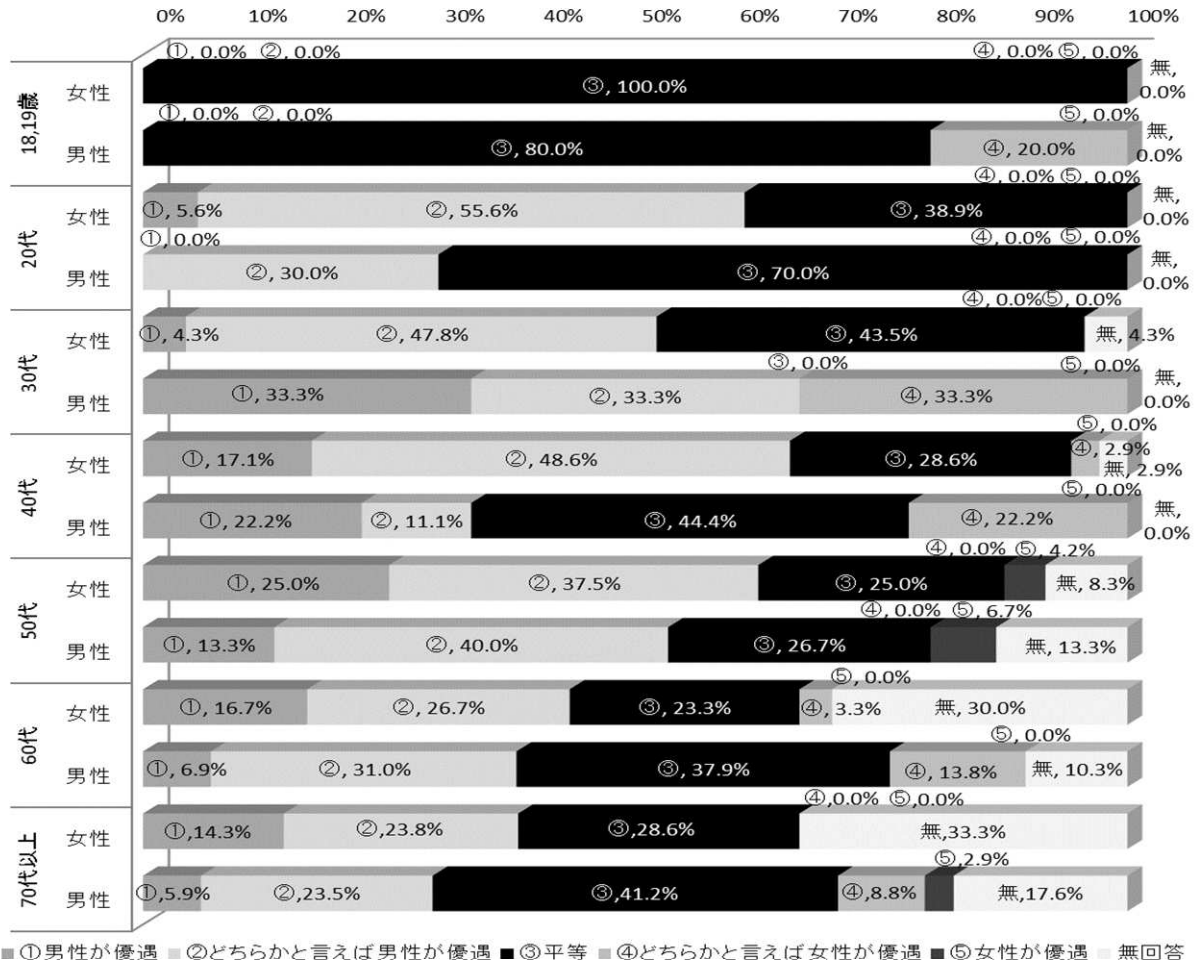
【全体(性別比・全国比)(R1)】



※以下、「(全国) R1」は、令和元年度に実施した調査結果の値

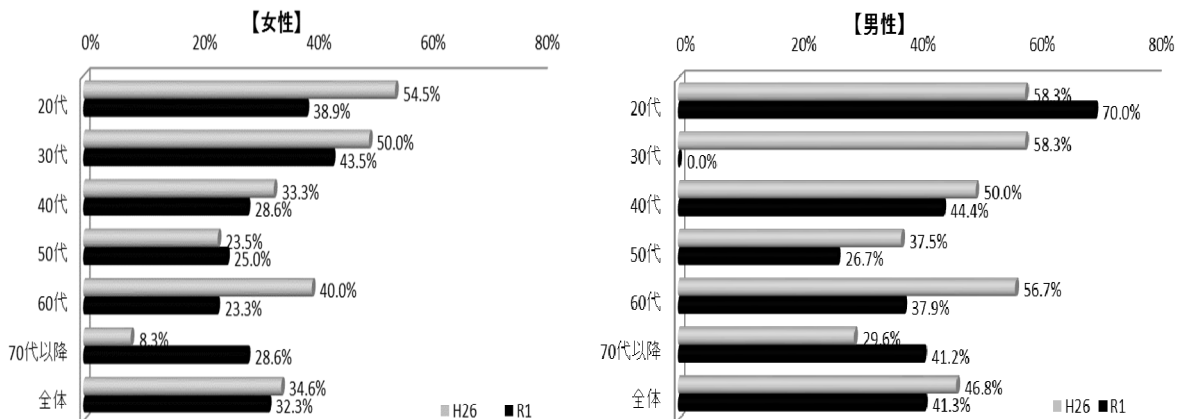
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 32.3%に対し男性 41.3%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 35.8%に対し女性は 52.9%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、「男性が優遇」と回答した人の割合は同じだが、石狩市民の「平等」は低い

## 【性別・年代別(R1)】



- ・ 多くの世代で男性より女性の方が平等感が低く、男性優遇感が高い
- ・ 一方、18、19歳の男女と20代男性は平等感が高く、7割以上の人が「平等」と回答
- ・ 20～50代女性と30代男性は、5割以上の方が「男性が優遇」(①と②の合計)と回答
- ・ 「男性が優遇」と回答した人の割合が最も高いのは、30代男性で66.6%
- ・ 30代男性は「平等」と回答した人の割合が0%で、他の世代と比較すると大変低い

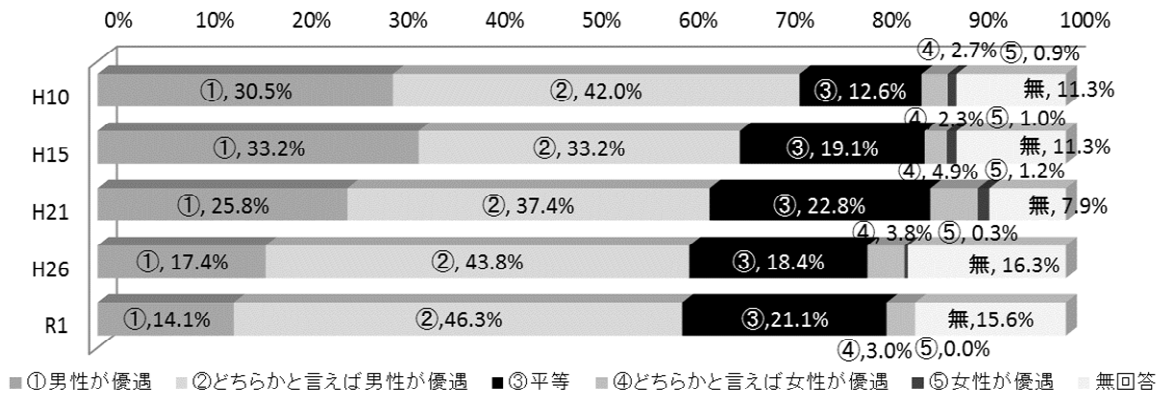
## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- ・ 男女とも60代以下のほとんどの世代で減少する一方、70代は大きく増加
- ・ 女性は50、70代以外の世代で減少
- ・ 男性は20、70代以外の世代で減少し、特に30代で大きく減少

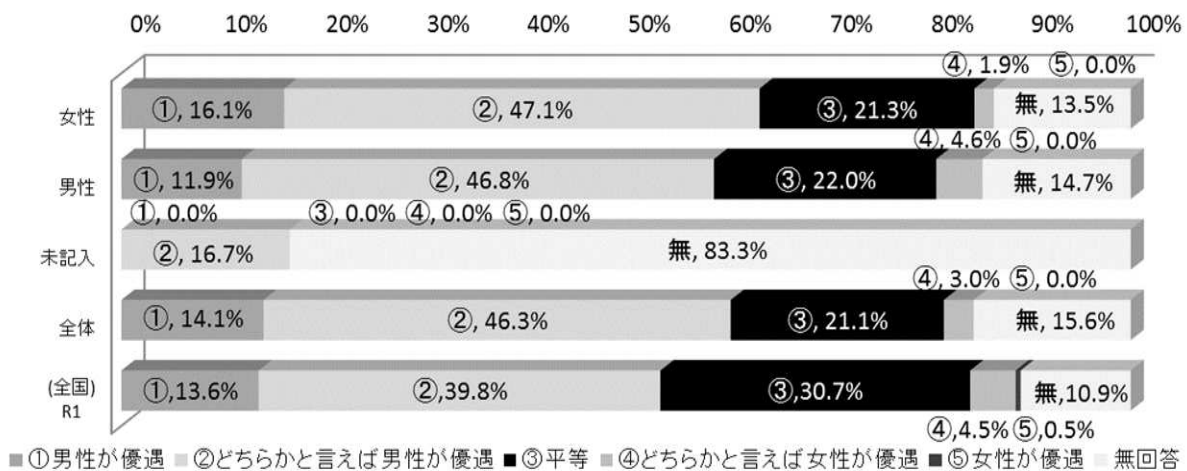
## (2) 職場・職業で

### 【全体(経年変化)】



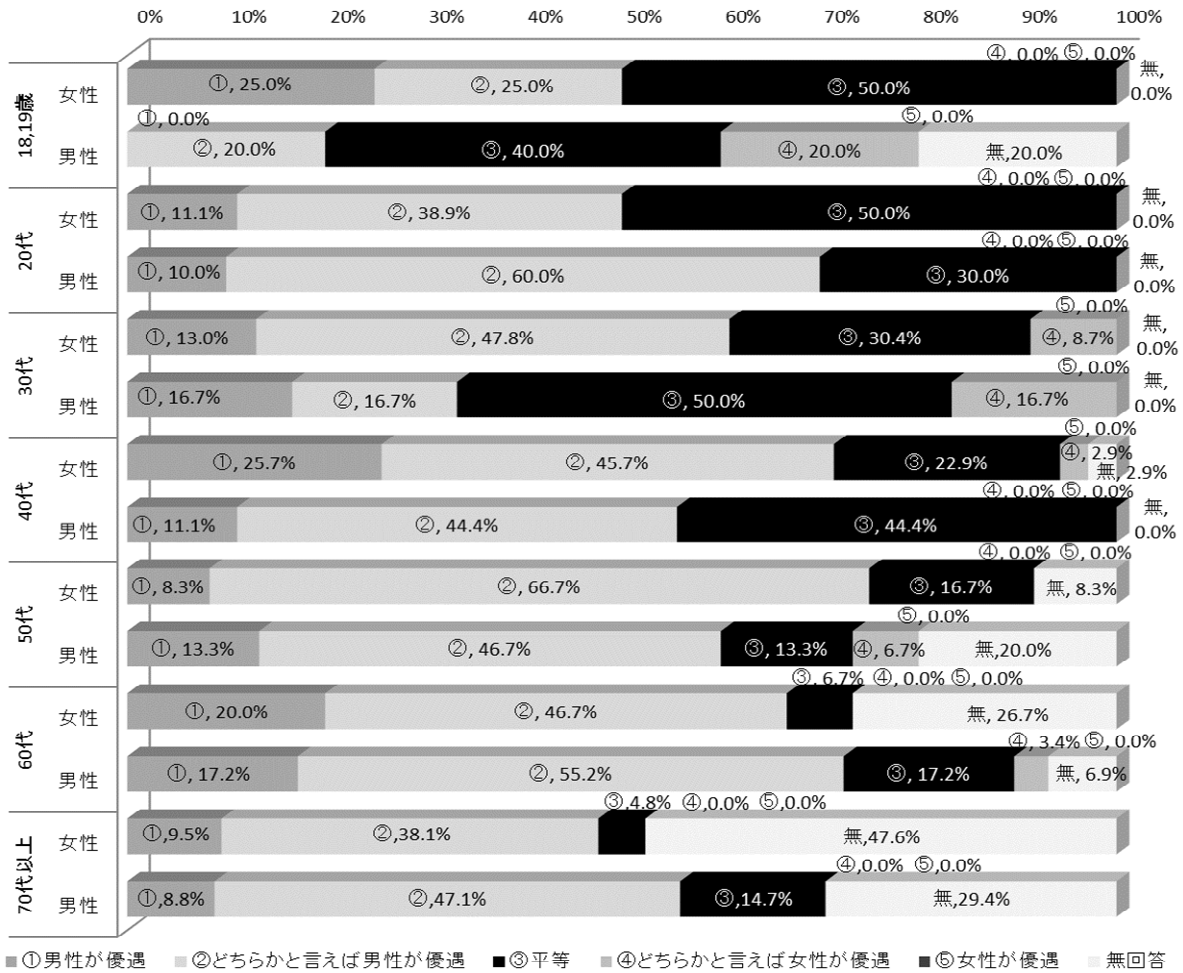
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回調査で微減したが、今回は微増し 21.1%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年の 72.5%から継続的に減少し、今回は 60.4%

### 【全体(性別比・全国比)(R1)】



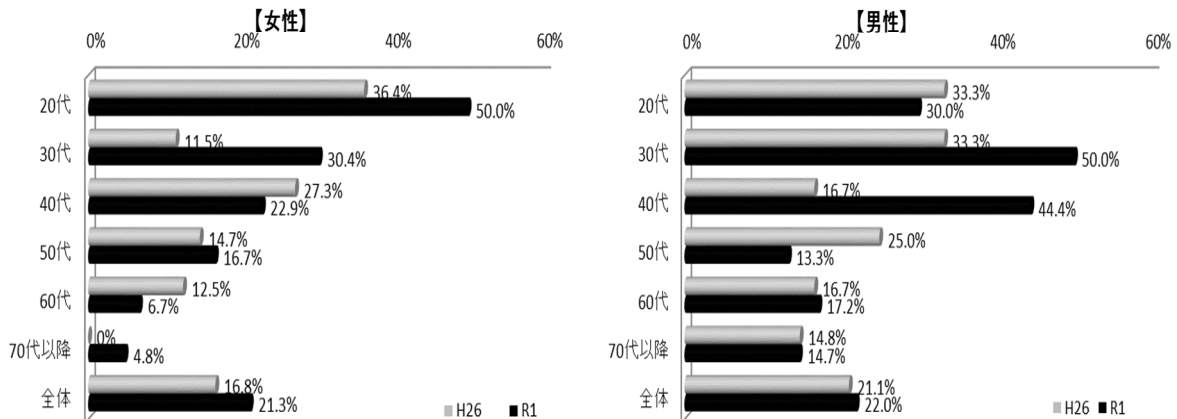
- ・ 女性と男性の意識割合はほぼ同じ
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、男女とも約2割
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男女とも約6割
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民は「男性が優遇」と回答した人の割合が高く、「平等」は低い

## 【性別・年代別(R1)】



- ・ 18、19歳女性、20代女性、30代男性は平等感が高く、50.0%の人が「平等」と回答
- ・ 年代が上がるほど平等感が下がり、50代以下の世代では男女ともに1割台以下
- ・ 多くの世代で「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が高く、最も高いのは50代女性で75.0%
- ・ 30代は、女性は男性優遇感が高いが、男性は平等感が高く、意識の差がある

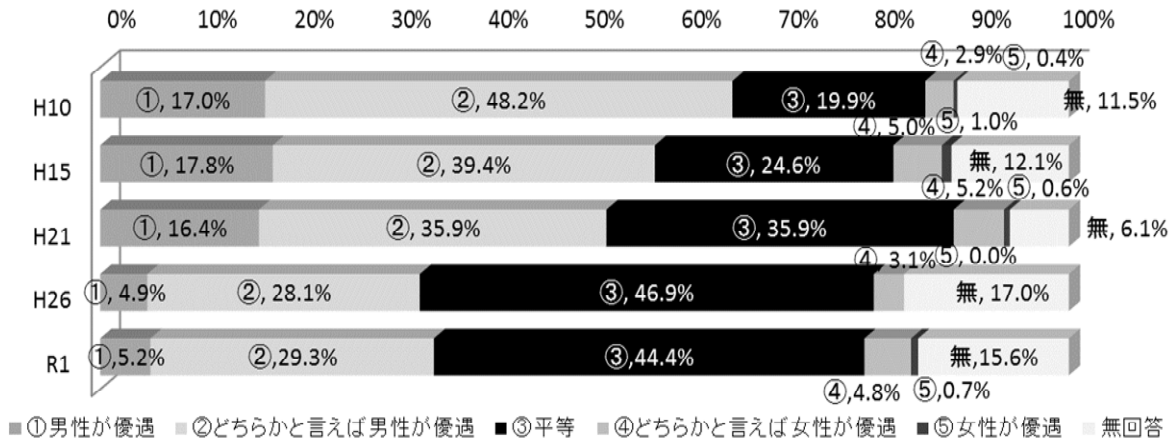
## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- ・ 女性は40、60代以外の世代で増加し、特に20、30代で大きく増加
- ・ 男性は30、40代で大きく増加する一方、50代は大きく減少

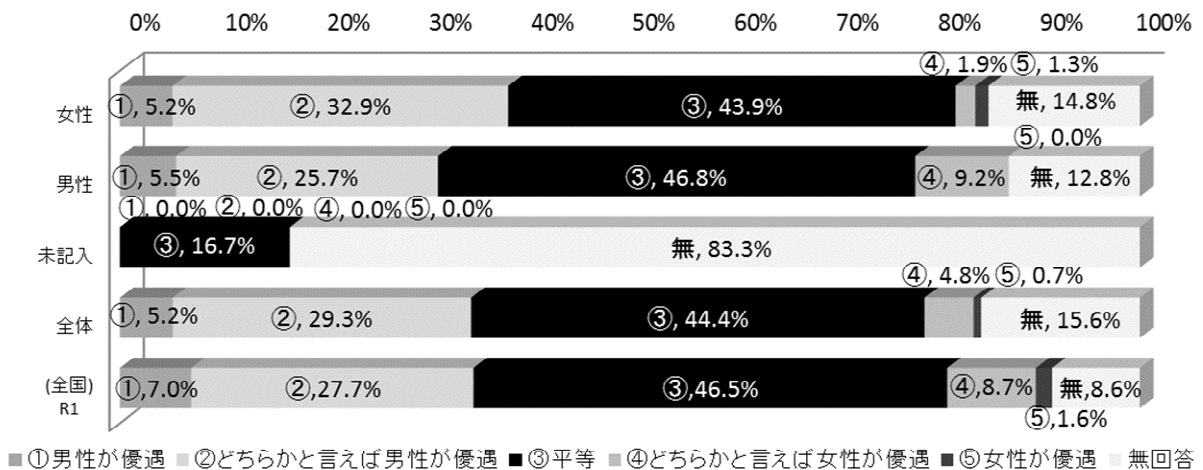
### (3) 地域社会で

【全体(経年変化)】



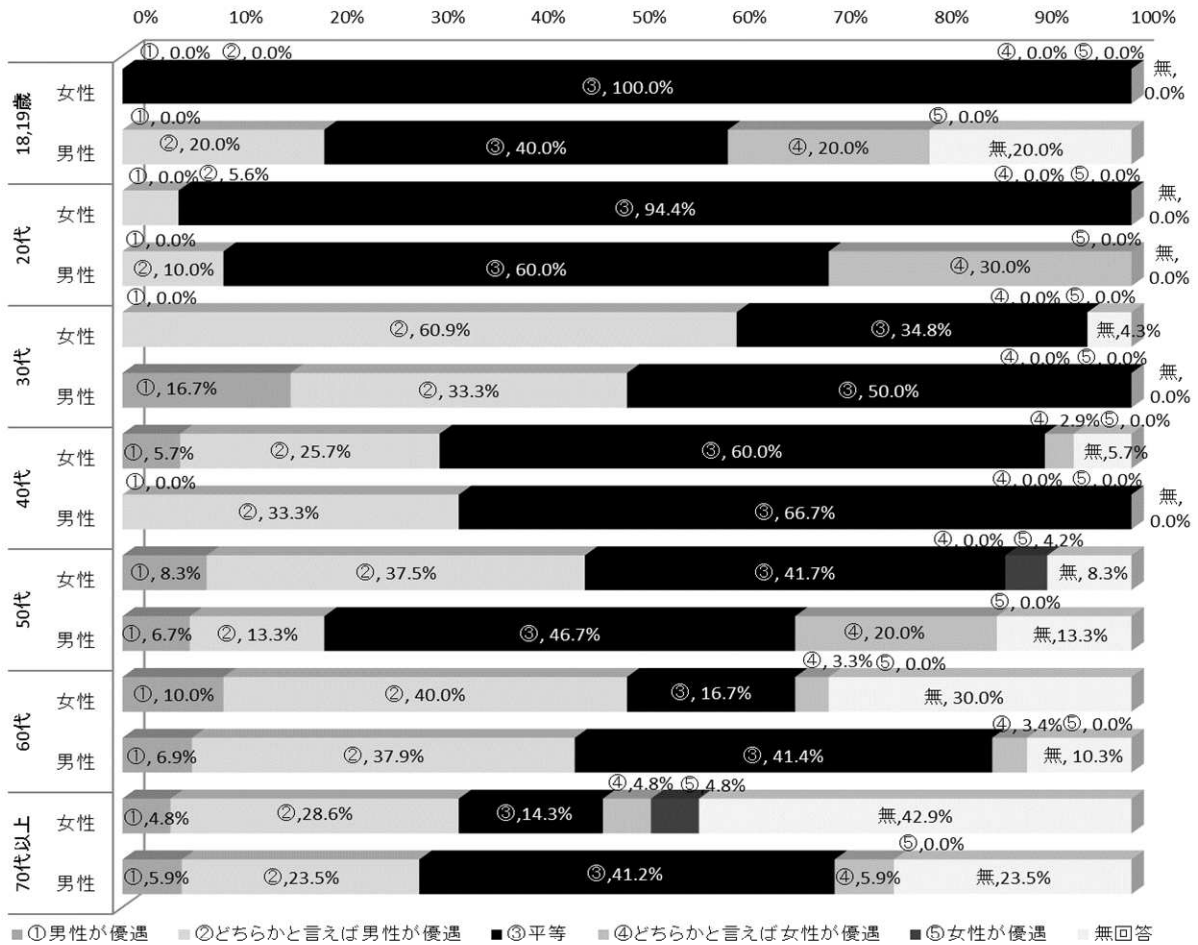
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に増加していたが、今回は微減し 44.4%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少していたが、今回は微増し 34.5%

【全体(性別比・全国比)(R1)】



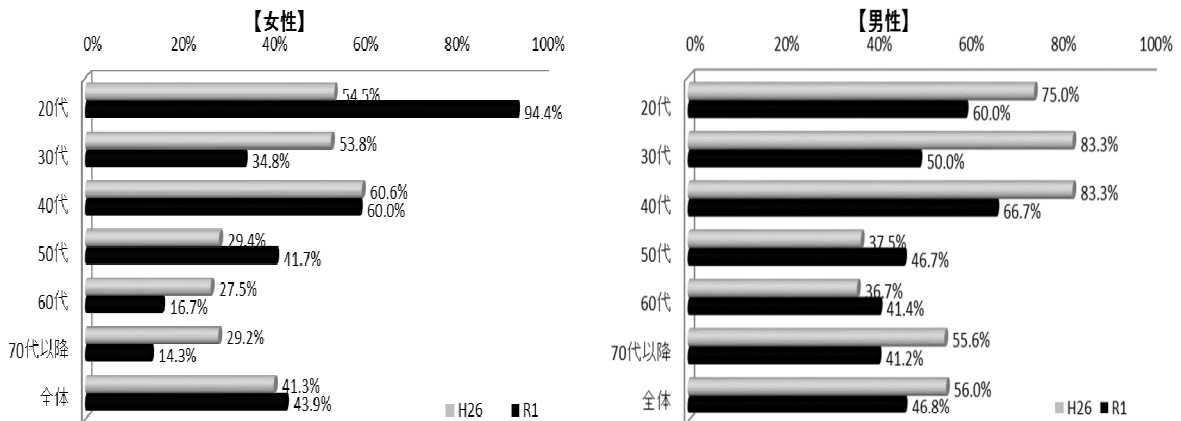
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性と男性でほぼ同じ
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 31.2%に対し女性は 38.1%
- ・ 男女で平等感ほぼ同じだが、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と石狩市民の意識割合は、ほぼ同じ

## 【性別・年代別(R1)】



- ・ 18、19歳女性、20、40代の男女、30代男性は平等感が高く、5割以上の人が「平等」と回答
- ・ 特に18、19歳、20代女性は、「平等」と回答した人の割合が9割以上
- ・ 60代以上の世代では、女性は「平等」と回答した人の割合が1割台と低い、男性は4割以上で意識の差が大きい
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、30代女性で60.9%
- ・ 「女性が優遇」(④と⑤の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、20代男性で30.0%

## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】

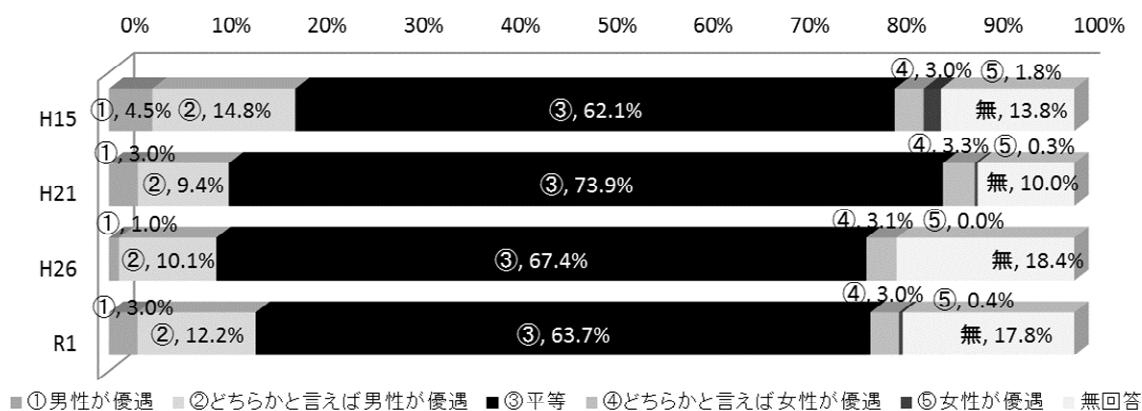


- ・ 多くの世代で減少する一方、20代女性は大きく増加
- ・ 男女とも30代で大きく減少



#### (4) 学校教育で

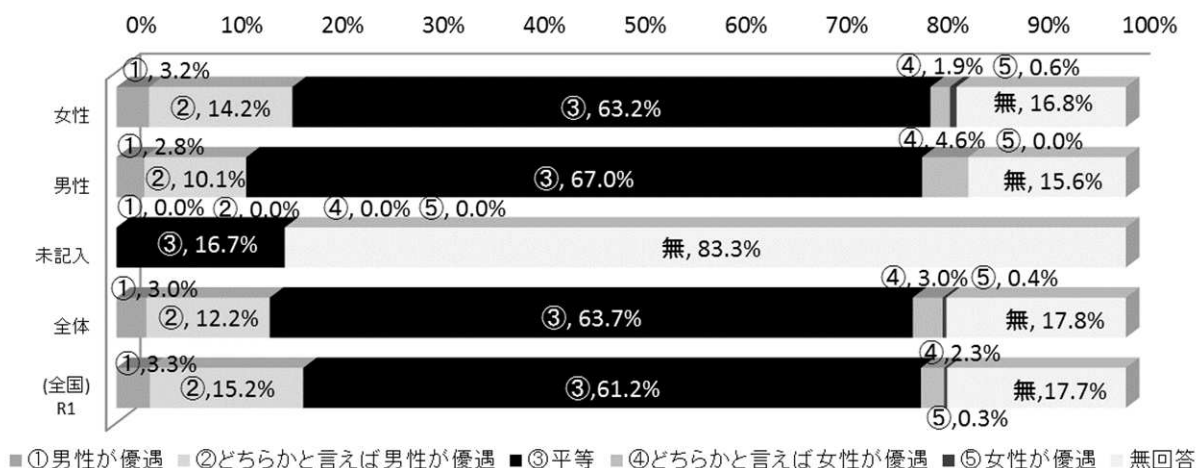
##### 【全体(経年変化)】



※本項目は、平成 15 年度調査から追加

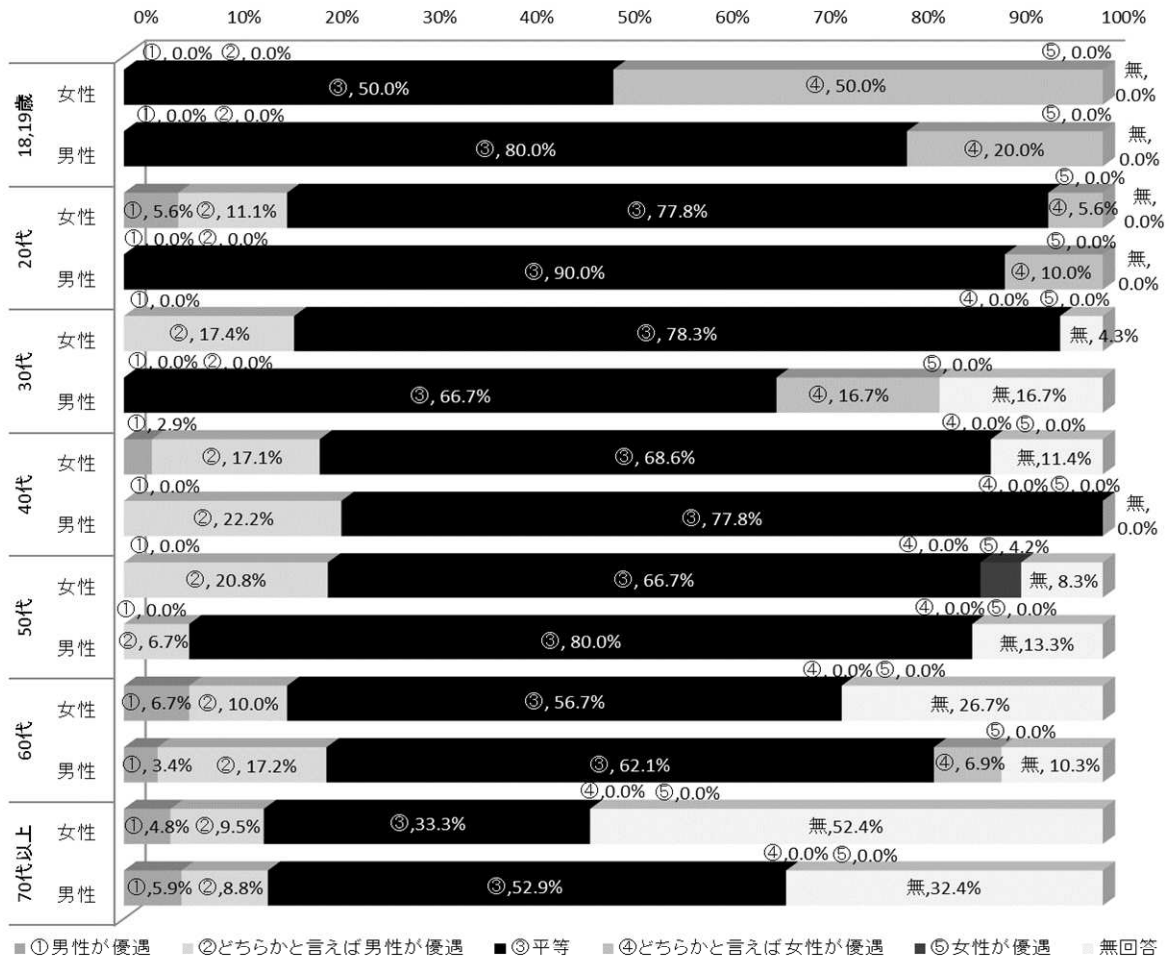
- ・ 平等感は平成 15 年の項目設定時から継続的に高い
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回から微減し 63.7%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 15 年から継続的に減少していたが、今回は増加し 15.2%

##### 【全体(性別比・全国比)(R1)】



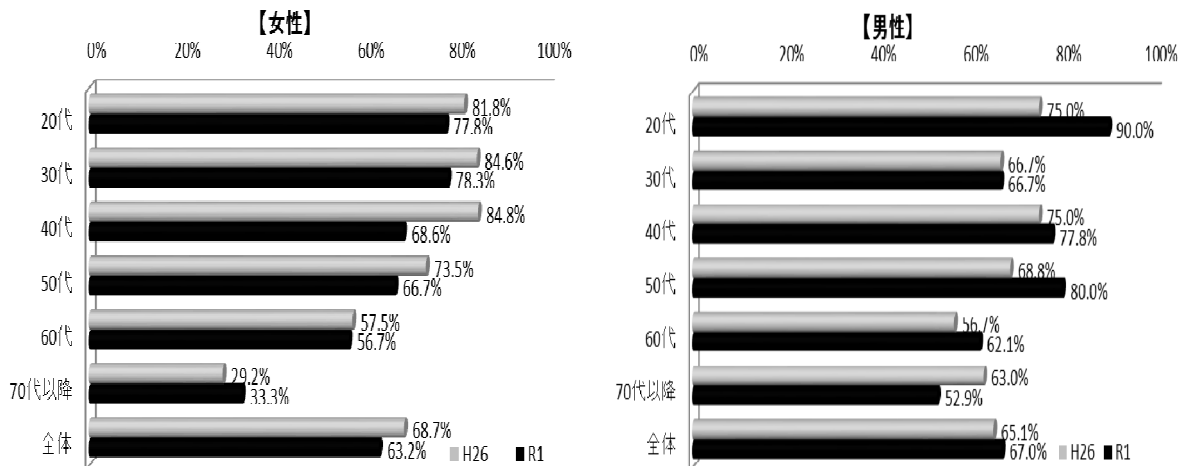
- ・ 女性と男性の意識割合はほぼ同じ
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、男女とも高く6割台
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男女とも低く1割台
- ・ 全国平均と石狩市民の意識割合もほぼ同じだが、石狩市民の方が平等感が高い

## 【性別・年代別(R1)】



- すべての世代で平等感が高く、特に 20～50 代で「平等」と回答した人の割合が高い
- 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、20 代男性で 90.0%
- 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、40 代男性で 22.2%
- 「女性が優遇」(④と⑤の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、18、19 歳女性で 50.0%

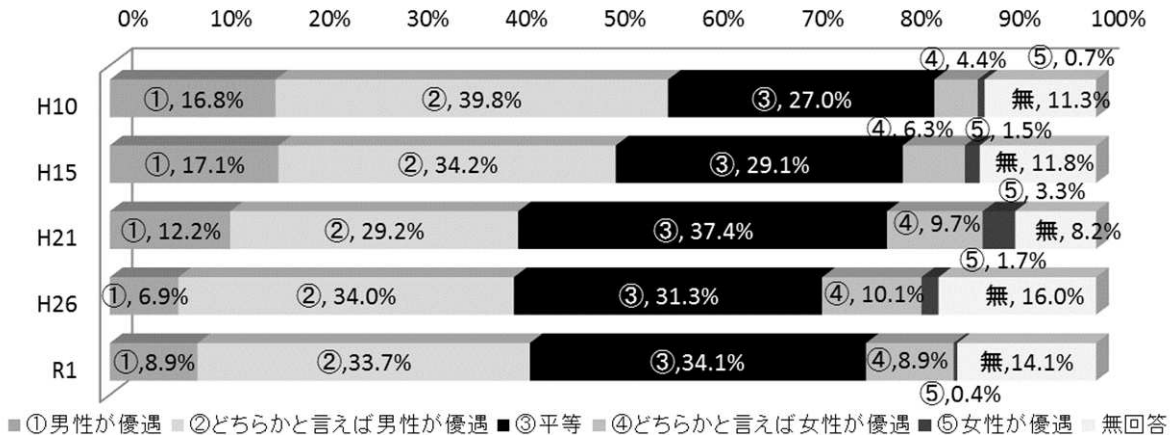
## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- 女性は 60 代以下の世代で減少
- 一方、男性は 30、70 代以外の世代で増加

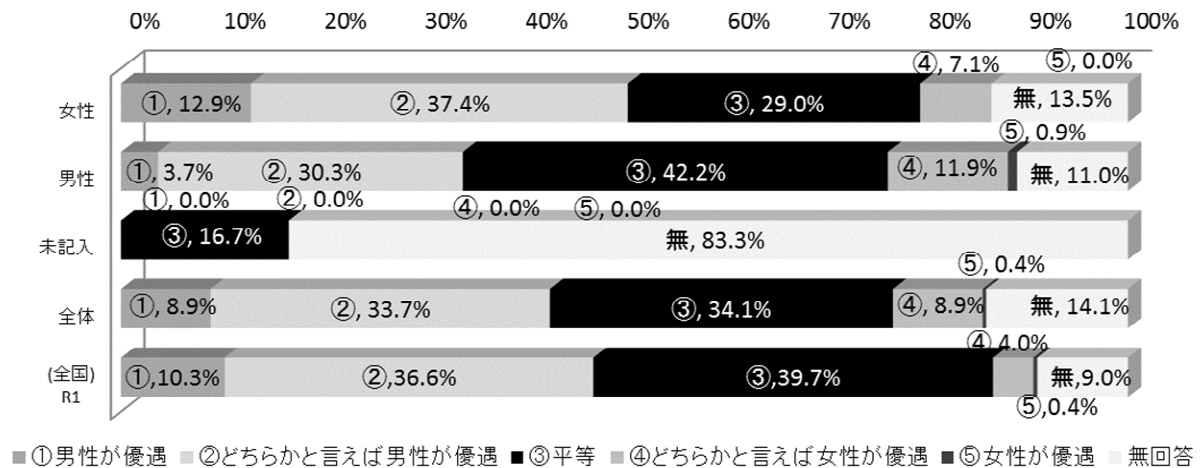
(5) 法律や制度の上で

【全体(経年変化)】



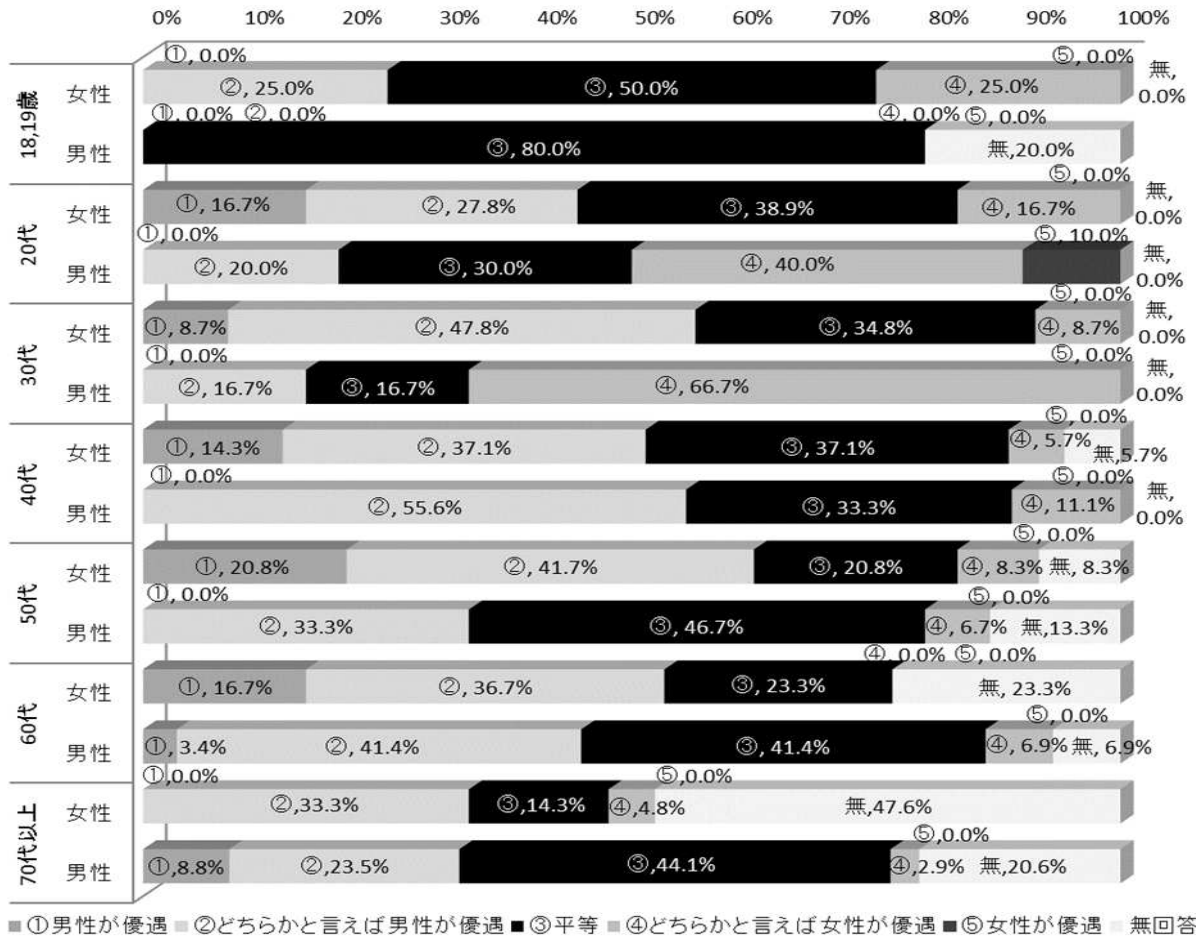
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回調査で減少したが、今回は微増し 34.1%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少していたが、今回は微増し 42.6%

【全体(性別比・全国比)(R1)】



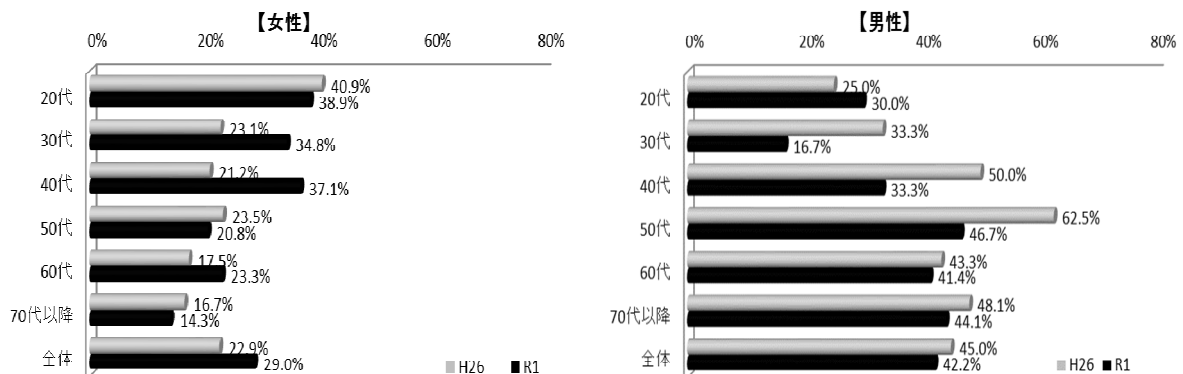
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 29.0%に対し男性 42.2%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 34.0%に対し女性は 50.3%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民は「男性が優遇」と回答した割合が低く、「平等」も低い

## 【性別・年代別(R1)】



- ・ 18、19歳は男女ともに平等感が高く5割以上の人が「平等」と回答する一方、30代男性と70代女性は1割台と低い
- ・ ほとんどの世代で男性より女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 特に30～60代女性と40代男性は「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が高く、最も高いのは50代女性で62.5%
- ・ 20、30代は、女性は男性優遇感が高いが、男性は女性優遇感が高く、意識の差が大きい
- ・ 「女性が優遇」(④と⑤の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、30代男性で66.7%

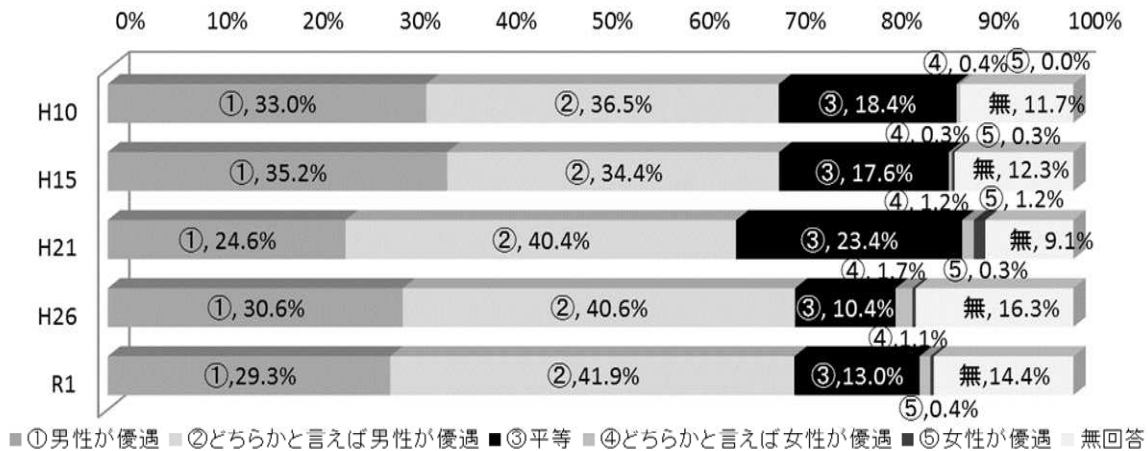
## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- ・ 女性は30、40代で大きく増加
- ・ 一方、男性は30代以上の世代で減少し、特に30～50代で大きく減少

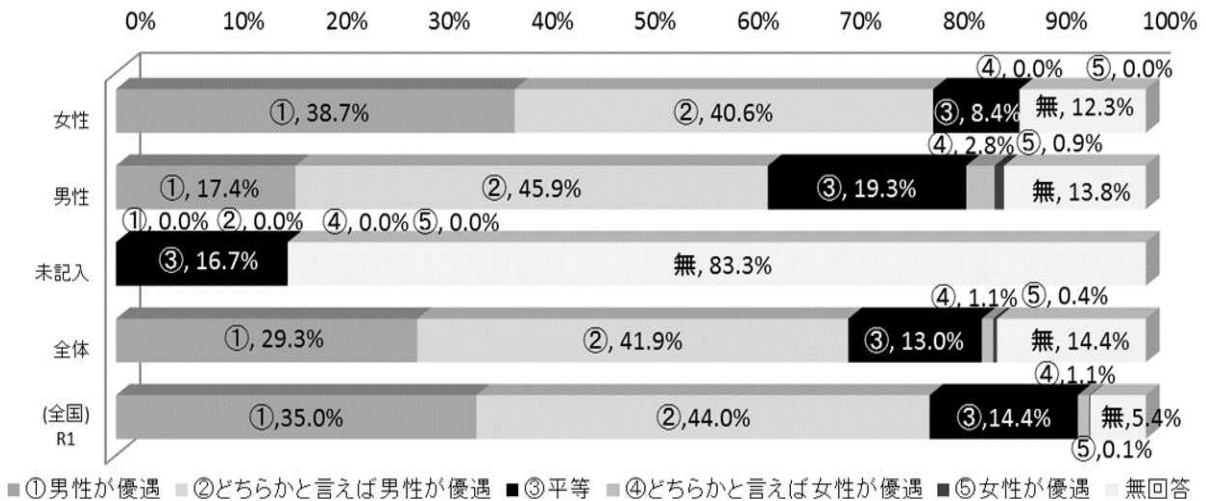
(6) 政治の場で

【全体(経年変化)】



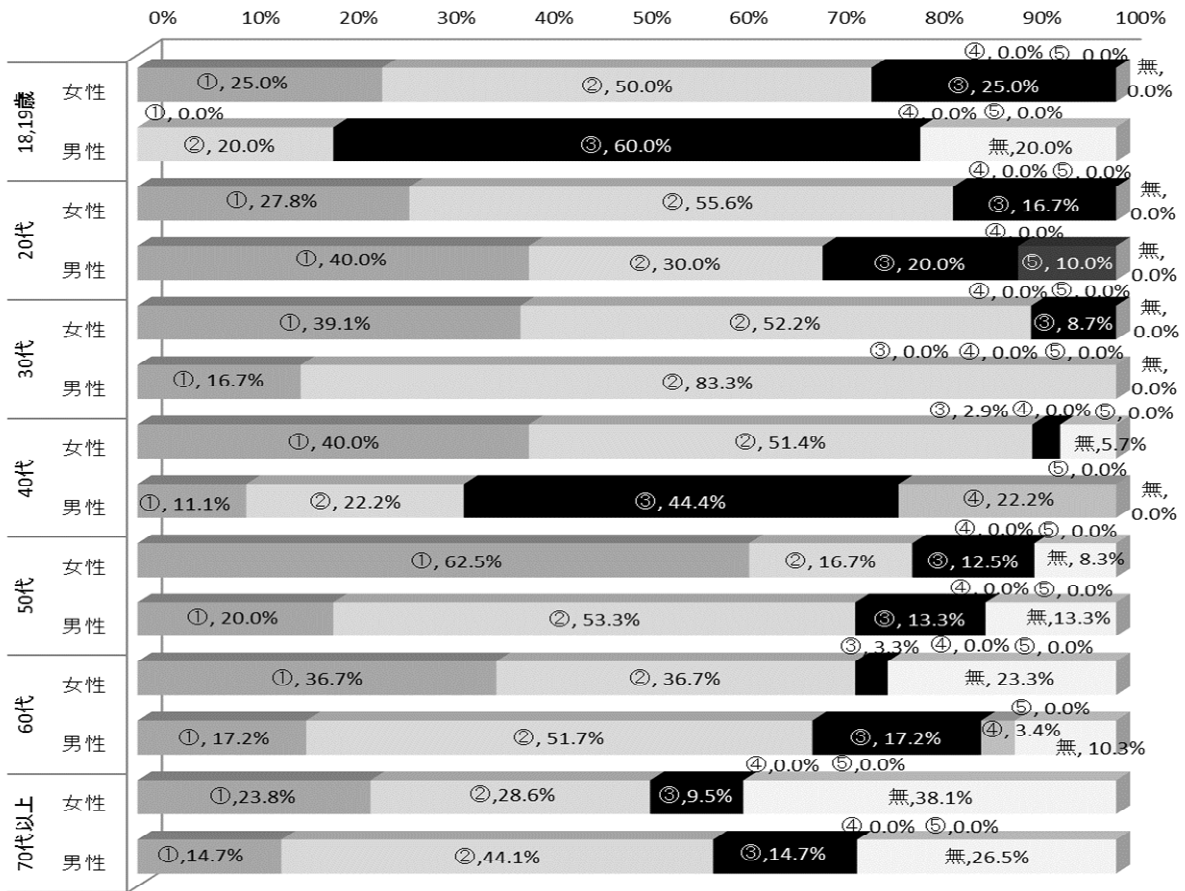
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回調査で大きく減少したが、今回は増加し 13.0%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は前回調査で増加したが、今回は前回と同じ 71.2%

【全体(性別比・全国比)(R1)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 8.4%に対し男性 19.3%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 63.3%に対し女性は 79.3%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合は低いが、「平等」はほぼ同じ

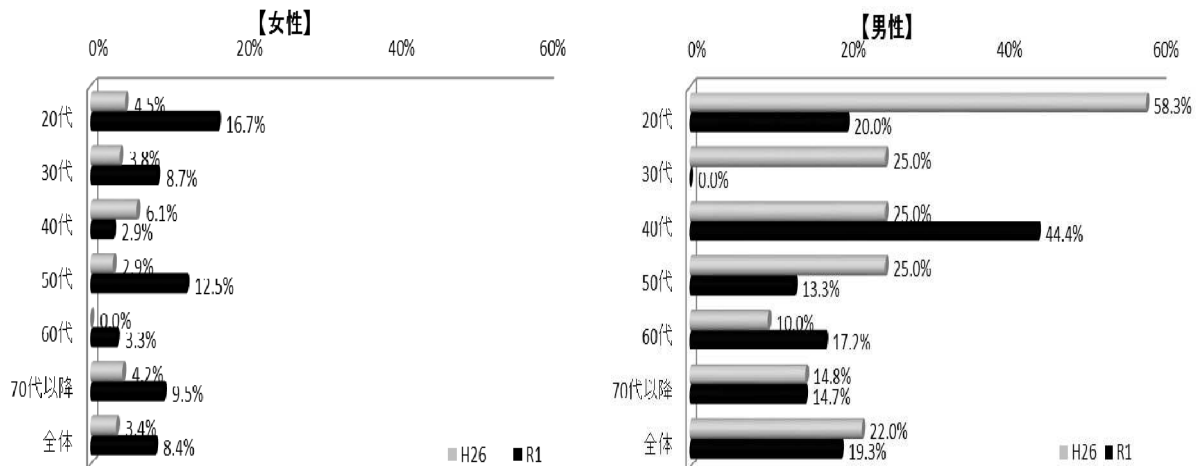
## 【性別・年代別(R1)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- ・ 多くの世代で「平等」と回答した人の割合が低い、18、19歳男性は60.0%と高い
- ・ 多くの世代で男性より女性の方が平等感が低く、男性優遇感が高い
- ・ 18、19歳男性と40代男性以外のすべての世代で「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が高く、特に30、40代女性は9割以上
- ・ 「男性が優遇」と回答した人の割合が最も高いのは、30代男性で100%

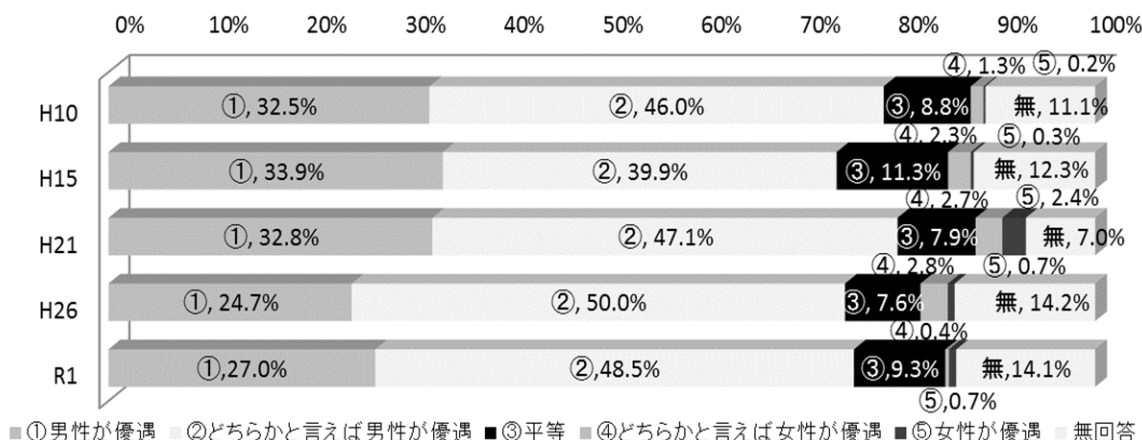
## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- ・ 女性は40代以外の世代で増加し、特に20、50代で大きく増加
- ・ 男性は40代で大きく増加する一方、多くの世代で減少し、特に20、30代で大きく減少

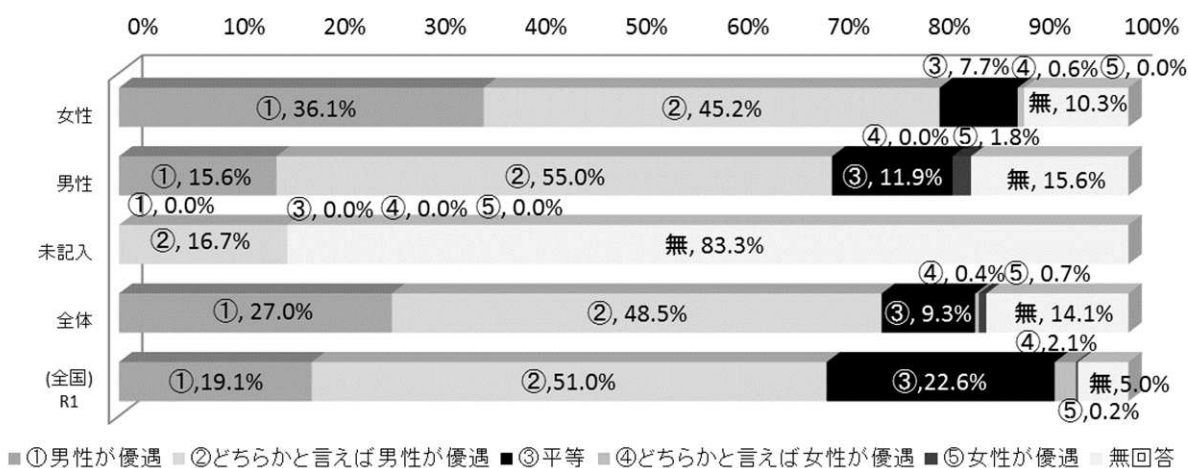
## (7) 社会通念や慣習、しきたりで

### 【全体(経年変化)】



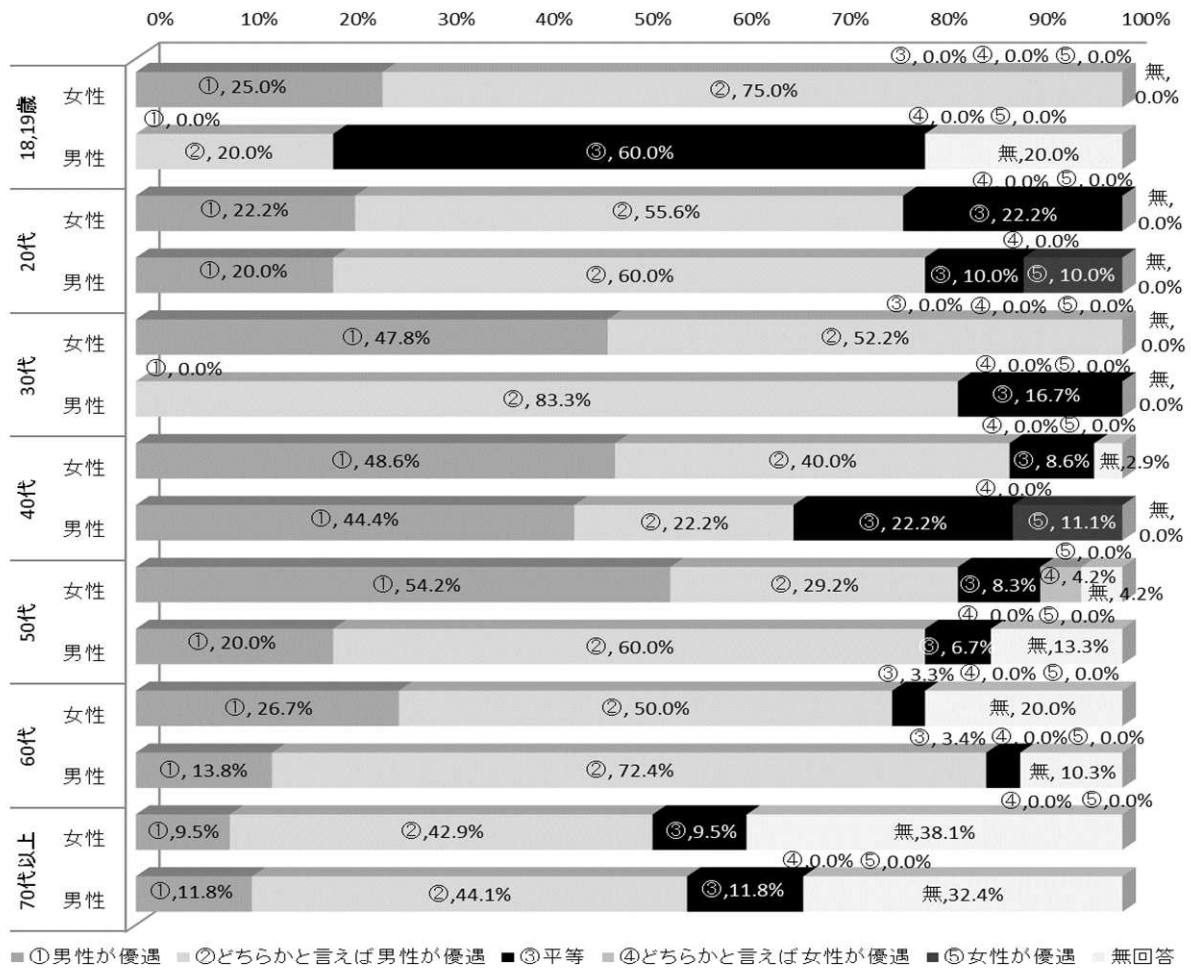
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に低く 1 割以下で、今回は前回の 7.6%からは増加し 9.3%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合も継続的に高く、毎回 7 割以上で、今回は前回の 74.7%から微減し 75.5%

### 【全体(性別比・全国比)(R1)】



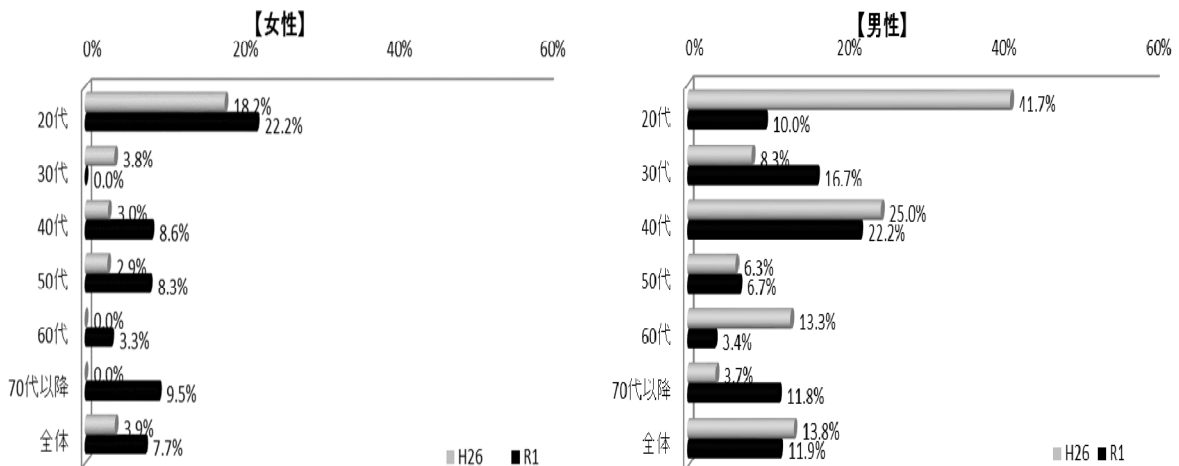
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 7.7%に対し男性 11.9%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 70.6%に対し女性は 81.3%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民は「男性が優遇」と回答した人の割合が高く、「平等」は低い

## 【性別・年代別(R1)】



- ・ ほとんどの世代で「平等」と回答した人の割合が低い、18、19歳男性は60.0%と高い
- ・ 18、19歳男性以外のすべての世代で平等感が低く、男性優遇感が高い
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、18、19歳女性と30代女性で100%

## 【「平等である」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



- ・ 多くの世代で増加し、特に男女とも70代で大きく増加
- ・ 女性の方が増加が目立ち、特に40代以上の世代で大きく増加
- ・ 一方、特に大きく減少したのは20代男性